



2022年6月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社 エリアクエスト
 コード番号 8912 URL <http://www.area-quest.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清原 雅人

問合せ先責任者 (役職名) 管理部 (氏名) 村山 弘樹

TEL 03-5908-3301

定時株主総会開催予定日 2022年9月27日 配当支払開始予定日

2022年9月28日

有価証券報告書提出予定日 2022年9月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年6月期の連結業績(2021年7月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期	2,181	1.8	177	17.7	173	19.7	103	26.6
2021年6月期	2,142	1.1	215	2.1	215	0.0	141	0.8

(注) 包括利益 2022年6月期 303百万円 (231.7%) 2021年6月期 130百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年6月期	5.14		6.7	5.0	8.1
2021年6月期	6.97		10.0	6.5	10.0

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年6月期	3,700	1,658	44.8	84.41
2021年6月期	3,350	1,452	43.4	71.72

(参考) 自己資本 2022年6月期 1,658百万円 2021年6月期 1,452百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年6月期	184	150	94	381
2021年6月期	204	26	150	443

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年6月期				2.00	2.00	40	28.7	2.9
2022年6月期				2.00	2.00	40	38.8	2.6
2023年6月期(予想)				2.00	2.00		34.5	

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,088	1.9	90	24.5	90	28.1	54	47.9	2.74
通期	2,200	0.8	190	7.0	190	9.8	114	10.0	5.80

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年6月期	20,250,000 株	2021年6月期	20,250,000 株
----------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2022年6月期	607,500 株	2021年6月期	株
----------	-----------	----------	---

期中平均株式数

2022年6月期	20,126,786 株	2021年6月期	20,250,000 株
----------	--------------	----------	--------------

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等についての、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染者数が減少し、経済活動の正常化が進む中で、個人消費は持ち直しの動きが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢や中国のゼロコロナ政策等により景気後退リスクが高まる中で、さらなるインフレ懸念が予想されるなど、先行き不透明感が強まっております。

当社顧客である店舗出店企業（物販・飲食業）におきましては、全国でまん延防止等重点措置解除から、行動制限のないゴールデンウィークとなり、家族客を中心として回復傾向になりました。一方、新型コロナウイルスについて、8月4日（木）、東京都で新たに3万5339人、全国で23万8735人の感染が発表されるなど、引続き不透明感が続いております。

このような環境下におきまして、感染抑制に努めながら、対面による営業を自粛し、電話及びメール・FAX・郵便を活用し、情報収集及び提案営業を行いました。

当社グループにおきまして、仲介関連事業は前年比減少しましたが、サブリース事業は前年比件数微増、粗利益3.7%増とすることができました。

当連結会計年度においては、人材採用及び販売促進費の拡大等、積極的な営業姿勢を続けてまいりました。景気や企業の出店意欲等に左右されない磐石なストック収入の基盤を創ることが、次期のさらなる業績向上につながると考えております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,181,747千円（前年同期比1.8%の増加）、営業利益177,553千円（前年同期比17.7%の減少）、経常利益173,022千円（前年同期比19.7%の減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は103,623千円（前年同期比26.6%の減少）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は632,037千円となり前連結会計年度末に比べ35,856千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が61,264千円減少したことによるものであります。

固定資産は3,059,501千円となり、前連結会計年度末に比べ381,663千円増加いたしました。これは主に事業用不動産の購入により建物が210,666千円増加したこと及び土地が22,584千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は3,700,507千円となり、前連結会計年度末に比べ350,369千円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は542,744千円となり、前連結会計年度末に比べ4,106千円増加いたしました。これは主に短期借入金が25,559千円増加したこと及び未払法人税等が34,862千円増加したものの、一年内返済長期借入金が81,000千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は1,499,599千円となり、前連結会計年度末に比べ140,452千円増加いたしました。これは主にサブリース物件の長期預り保証金が47,485千円増加したこと及び社債が85,050千円増加したものの、長期借入金が21,752千円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,042,343千円となり、前連結会計年度末に比べ144,558千円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は1,658,164千円となり、前連結会計年度末に比べ205,810千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上103,623千円等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ61,264千円減少し、当連結会計年度末残高は381,786千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、184,567千円（前年同期比20,028千円の収入減少）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が169,515千円によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、150,878千円（前年同期比123,953千円の支出増加）となりました。これは、主に投資有価証券の取得及び売却による収支7,204千円（支出）及び預り保証金の受入及び返還による収支87,484千円（収入）があるものの、有形固定資産の取得による支出187,505千円及び差入保証金の受入及び返還による収支26,217千円（支出）等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、94,953千円（前年同期比55,755千円の支出減少）となりました。これは主に社債による収支92,705千円（収入）があるものの、借入収支77,193千円（支出）及び配当金の支払40,742千円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期	2022年6月期
自己資本比率 (%)	47.9	45.5	41.2	43.4	44.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	165.5	77.1	63.1	64.1	49.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.6	1.4	3.0	2.9	3.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	57.0	51.5	52.0	54.3	60.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注5) 利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

（4）今後の見通し

今後のわが国経済は、新型コロナウイルスオミクロン型拡大と4回目ワクチン接種率進捗に対して、社会経済活動の新たな規制次第では、減収減益の可能性がります。

以上の結果、次期の見通しにつきましては、売上高2,200,000千円（前年比0.8%増）、営業利益190,000千円（前年比7.0%増）、経常利益190,000千円（前年比9.8%増）、親会社に帰属する当期純利益114,000千円（前年比10.0%増）を見込んでおります。

（5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要課題と認識し、内部留保とのバランスを考慮しつつ、継続的な株主配当を実施していく方針であります。

当社の剰余金の配当は、期末配当の年1回を基本的な方針としております。この剰余金の配当の決定機関は株主総会であります。

当期の配当につきましては、1株当たり2.0円を予定しております。

なお、次期の配当につきましては、1株当たり2.0円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当連結会計年度 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	443,050	381,786
売掛金	75,775	103,262
その他	149,068	146,989
流動資産合計	667,894	632,037
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,034,088	1,244,754
減価償却累計額	△427,833	△504,160
建物(純額)	606,255	740,594
車両運搬具	14,533	13,471
減価償却累計額	△7,520	△8,858
車両運搬具(純額)	7,012	4,612
工具、器具及び備品	254,475	252,816
減価償却累計額	△239,363	△241,227
工具、器具及び備品(純額)	15,111	11,589
土地	408,420	431,005
リース資産	70,065	70,065
減価償却累計額	△27,019	△35,889
リース資産(純額)	43,045	34,175
建設仮勘定	8,140	—
有形固定資産合計	1,087,985	1,221,977
無形固定資産		
ソフトウェア	22,781	15,940
その他	2,342	2,342
無形固定資産合計	25,124	18,283
投資その他の資産		
投資有価証券	462,384	691,858
長期貸付金	59,344	61,490
繰延税金資産	13,641	12,346
長期前払費用	44,606	41,620
敷金及び保証金	784,259	804,649
保険積立金	70,072	69,654
会員権	52,904	52,904
その他	86,843	94,043
貸倒引当金	△9,328	△9,328
投資その他の資産合計	1,564,728	1,819,239
固定資産合計	2,677,837	3,059,501
繰延資産		
社債発行費	4,406	8,968
繰延資産合計	4,406	8,968
資産合計	3,350,138	3,700,507

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当連結会計年度 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,515	9,880
短期借入金	149,649	175,208
1年内償還予定の社債	28,000	41,300
1年内返済予定の長期借入金	102,752	21,752
リース債務	9,868	13,854
未払金	47,072	67,630
未払法人税等	16,402	51,264
その他	175,377	161,853
流動負債合計	538,637	542,744
固定負債		
社債	136,800	221,850
長期借入金	132,394	110,642
リース債務	36,567	22,713
長期預り保証金	1,018,177	1,065,662
繰延税金負債	—	11,523
その他	35,208	67,208
固定負債合計	1,359,146	1,499,599
負債合計	1,897,784	2,042,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	991,100	991,100
資本剰余金	2,250	2,250
利益剰余金	623,970	687,093
自己株式	—	△56,922
株主資本合計	1,617,320	1,623,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△164,966	34,642
その他の包括利益累計額合計	△164,966	34,642
純資産合計	1,452,353	1,658,164
負債純資産合計	3,350,138	3,700,507

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,142,816	2,181,747
売上原価	1,514,192	1,588,718
売上総利益	628,623	593,029
販売費及び一般管理費		
役員報酬	91,300	87,180
給与手当	53,376	52,281
法定福利費	9,590	8,733
求人費	2,990	2,170
減価償却費	34,826	35,811
地代家賃	17,459	17,421
広告宣伝費	23,322	29,702
交際費	28,775	34,282
通信費	4,306	4,767
旅費及び交通費	9,307	9,463
支払手数料	74,586	67,612
顧問料	6,450	7,804
業務委託費	4,729	4,320
その他	51,955	53,926
販売費及び一般管理費合計	412,977	415,476
営業利益	215,646	177,553
営業外収益		
受取利息	48	54
受取配当金	6,700	2,767
未払配当金除斥益	589	528
その他	1,390	586
営業外収益合計	8,729	3,936
営業外費用		
支払利息	3,948	3,043
支払手数料	3,988	4,340
社債発行費償却	568	1,082
その他	255	—
営業外費用合計	8,761	8,466
経常利益	215,613	173,022
特別利益		
投資有価証券売却益	26,153	13,281
固定資産売却益	—	151
その他	—	3,261
特別利益合計	26,153	16,694
特別損失		
固定資産売却損	5,973	—
固定資産除却損	12,115	4,804
投資有価証券売却損	1,650	6,616
賃貸借契約解約損	63	—
和解金	15,336	846
保険売却損	—	7,354
その他	—	581
特別損失合計	35,139	20,202

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
税金等調整前当期純利益	206,627	169,515
法人税、住民税及び事業税	64,713	69,068
法人税等調整額	810	△3,177
法人税等合計	65,523	65,891
当期純利益	141,104	103,623
親会社株主に帰属する当期純利益	141,104	103,623

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
当期純利益	141,104	103,623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,242	199,608
その他の包括利益合計	△10,242	199,608
包括利益	130,862	303,232
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	130,862	303,232

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	991,100	2,250	523,365	1,516,715
当期変動額				
剰余金の配当			△40,500	△40,500
親会社株主に帰属する当期純利益			141,104	141,104
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	100,604	100,604
当期末残高	991,100	2,250	623,970	1,617,320

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△154,724	△154,724	1,361,991
当期変動額			
剰余金の配当			△40,500
親会社株主に帰属する当期純利益			141,104
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△10,242	△10,242	△10,242
当期変動額合計	△10,242	△10,242	90,362
当期末残高	△164,966	△164,966	1,452,353

当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	991,100	2,250	623,970	—	1,617,320
当期変動額					
剰余金の配当			△40,500		△40,500
親会社株主に帰属する当期純利益			103,623		103,623
自己株式の取得				△56,922	△56,922
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	63,123	△56,922	6,201
当期末残高	991,100	2,250	687,093	△56,922	1,623,521

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△164,966	△164,966	1,452,353
当期変動額			
剰余金の配当			△40,500
親会社株主に帰属する当期純利益			103,623
自己株式の取得			△56,922
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	199,608	199,608	199,608
当期変動額合計	199,608	199,608	205,810
当期末残高	34,642	34,642	1,658,164

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	206,627	169,515
減価償却費	125,133	129,474
受取利息及び受取配当金	△6,749	△2,821
支払利息	3,948	3,043
社債発行費償却	568	1,082
固定資産売却損益 (△は益)	5,973	△151
固定資産除却損	12,115	4,804
投資有価証券売却損益 (△は益)	△24,503	△6,665
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10,000	—
保険売却益 (△は益)	—	7,354
和解金	15,336	846
売上債権の増減額 (△は増加)	9,392	△47,010
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,339	364
長期前受収益の増減額 (△は減少)	△24,800	△18,643
前受金の増減額 (△は減少)	15,290	16,650
前払費用の増減額 (△は増加)	△9,788	8,361
その他	△41,810	△25,428
小計	270,395	240,775
利息及び配当金の受取額	6,749	2,821
利息の支払額	△3,768	△3,028
法人税等の支払額	△75,832	△63,723
法人税等の還付額	18,489	8,568
和解金の支払額	△11,436	△846
営業活動によるキャッシュ・フロー	204,595	184,567
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11,300	△7,200
定期預金の払戻による収入	18,000	—
有形固定資産の取得による支出	△125,003	△187,505
有形固定資産の売却による収入	6,050	681
無形固定資産の取得による支出	△3,000	△4,000
投資有価証券の取得による支出	△152,363	△173,682
投資有価証券の売却による収入	225,314	166,478
保険積立金の積立による支出	△13,394	△11,107
保険積立金の売却による収入	—	4,172
貸付けによる支出	△27,164	△3,797
貸付金の回収による収入	15,697	3,815
預り保証金の受入による収入	205,630	133,704
預り保証金の返還による支出	△106,250	△46,219
差入保証金の差入による支出	△103,908	△32,322
差入保証金の回収による収入	22,987	6,105
その他	21,780	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,924	△150,878

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	14,478	25,559
長期借入金の返済による支出	△145,799	△102,752
社債の発行による収入	62,983	127,355
社債の償還による支出	△18,400	△34,650
長期未払金の返済による支出	—	△2,932
自己株式の取得による支出	—	△56,922
配当金の支払額	△40,998	△40,742
その他	△22,974	△9,868
財務活動によるキャッシュ・フロー	△150,709	△94,953
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	26,961	△61,264
現金及び現金同等物の期首残高	416,088	443,050
現金及び現金同等物の期末残高	443,050	381,786

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。またこの適用の結果、当連結会計年度の損益に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度（自 2020年7月1日 至 2021年6月30日）及び当連結会計年度（自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）

当社グループは、不動産ソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2020年7月1日 至 2021年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、不動産ソリューション事業の単一セグメントであり、当該事業の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上の90%超であるため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、不動産ソリューション事業の単一セグメントであり、当該事業の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上の90%超であるため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年7月1日 至 2021年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年7月1日 至 2021年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年7月1日 至 2021年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
1株当たり純資産額	71円72銭	84円41銭
1株当たり当期純利益金額	6円97銭	5円14銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	－円－銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	－円－銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	141,104	103,623
普通株主に帰属しない金額 (千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	141,104	103,623
期中平均株式数 (千株)	20,250	20,126

(重要な後発事象)

該当事項はありません。